

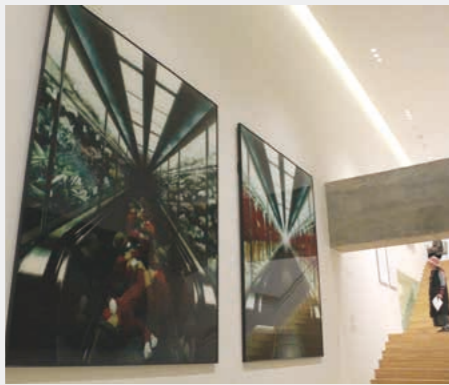


CITY WATCHING

クローズアップ CLOSE UP

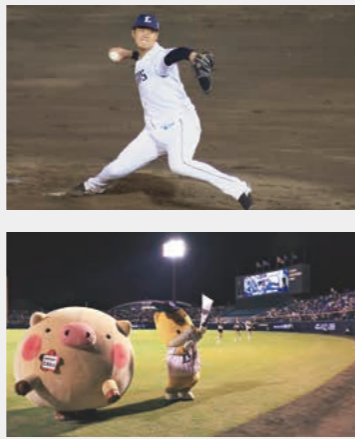
やなぎみわの世界体感

アーツ前橋では現在「やなぎみわ展 神話機械」を開催しています。5月17日・18日には関連イベントとしてライブパフォーマンス“MM”を実施。戯曲を題材に演劇と美術、機械を融合させた舞台作品で観客を魅了しました。同展は6月23日(日)まで開催します。



会場いっぱい声援響く

上毛新聞敷島球場で5月8日、埼玉西武ライオンズのホーム戦を開催。今年も本市PRブースの設置やほとんどの応援を実施しました。また、この日は前橋育英高出身の高橋光成投手が先発登板。3年ぶりの地元登板に、観客席から大きな声援が送られました。



3代目王者はペスカに

5月11日と12日、中央イベント広場で「キングオブピッツァ」を開催しました。市内外の9店舗が審査員の目の前でピザを作製。3代目王者には市内の「ピッツェリアペスカ！」が選ばれました。会場の販売ブースには多くの人々が並び、ピザを堪能しました。

いきいき
まえばし人

日本マスターズ水泳大会で世界新記録を更新
滋野文夫さん・69歳(左)
西片貝町五丁目
今井正太郎さん・54歳(右)
南町三丁目

世界記録は毎日の練習から



4月に千葉県で開催された日本マスターズ水泳大会の4人×50メートルレーリレー、合計年齢240才以上の部で世界新記録を更新した滋野さんと今井さん。

「10年前に練習仲間とチームを結成してマスターズ大会のレーリレー種目に出場し始めました」。その当時からメドレーレーリで世界記録を出している。「メンバー4人のうち2人が県外へ転動したのでそれぞれ別チームで活動していましたが、10年たって4人の合計年齢が240才以上になったので、再度世界記録更新に挑戦しようと、1年間の期限付きでチームを再結成しました」と滋野さん。今年、各地で開催されるマスターズ大会に出場している。

「このメンバーでまた世界記録を達成できてうれしい」と今井さんが続ける。

大会は今年全国で30大会ほど予定されているため、チーム最年少の今井さんは「今年限りのチームなので、大会にはできる限り出場するようにしています」と意気込む。

日々の練習を欠かさない2人は、市水泳協会の役員としても後輩の指導に当たっている。これからも市内の子供たちやシニア世代に水泳の楽しさを伝え、個人としても記録の更新を狙っていく。

萩原朔美
河畔奇譚

THE BLUE CAT
猫青
vol.13

前橋文学館
027-235-8011

前橋文学館長の萩原朔美が著名人と対談。さまざまな領域で活躍する館長が各界の人々とあれこれ語り合います。今回から住友文彦アーツ前橋館長との対談を4回にわたってお届けします。



共同企画展のこれから萩原(以下H) ヒツクリコガツクリコに続いて、共同企画展をまたやりたいなと思っ
ていて。やっぱりお客さんも来てくれるし。

住友(以下S) 文学館からアーツまでの道に、擬音語のフラッグを飾って連続性を持

たせられたのは結構よかったです。と思います。

H フラッグを飾ったら雰囲気が変わって歩きやすくなったよね。道中の空き家を、例えば画廊や萩原恭次郎記念館にしたら、文学館からアーツまで歩いて楽しい場所になるね。

S 今よりもっと、近隣を歩けるだけで文化と出会うことができます。街になって欲しいと思います。

●前橋の文化・芸術を世界へ

S 1996年にあつた世界詩人会議、今もう1回やったらすごいことになるんじゃないですか。世界中の詩人がまちなかで飲食する。そんな光景を見てみたいですよ。例えばですが、文学館とアーツ共同で、世界中の表現者を集められたら面白いなど。

H あとは、ユネスコの創造都市ネットワークに手を挙げるとかね。前橋は何人も詩人を輩出している他にない場所だから、きっと文学の分野ですぐ認められる。

S それで世界とつながる窓になったらいいですね。発信力もかなり上がりそうです。(8月1日号に続く)